

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2023 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2355
研究開発課題名	コスト削減、品質向上、労務環境改善等を主眼とする船舶塗装の抜本的生産性向上を図る「高粘度液体オンデマンド吐出装置」実用化の為に新（特許）技術の開発
研究代表者	田川 義之

総合評価

高い優位性を持っており、実用化が期待される有望技術と考える。

ビジネスとして成功させるには高度な戦略とそれを実施するチームビルディングが必要不可欠である。特に、知財ライセンスが中心のビジネスモデルを想定しているため、継続的な特許出願、訴訟リスクへの対応など、製品販売やサービス提供とは異なる事業計画の立案が必要であり、それらに対応出来る経営人材の確保が必要である。

事業化を加速させるにあたり、まずは国内造船業を優先すべきだが、海外展開、造船関連以外での多用途展開の是非やその時期などを考慮しながら資本政策の検討も進めていくことを期待する。

以上